

第70号 富士山ボランティアセンターニュース



(富士吉田市浅間公園から撮影)

人も変わり、世が変わっても、桜は美しく咲き乱れます。富士山の艶やかな共演

ふまごまのこころ
出す櫻哉
(芭蕉)

富士山に恩返し ～活発な清掃活動～

4月下旬に富士北麓で行われた
清掃活動を紹介します。

●4月22日『春の吉田口登山道周辺清掃活動』 (富士吉田市主催)



・清掃場所
富士北麓公園～中の茶屋
の吉田口登山道沿い
・参加人数
90人
・ゴミの量
可燃物 390kg
不燃物 1.1トン

(パインズパークでの開会式)

●4月23日 『富士河口湖町クリーンアップキャンペーン』 (富士河口湖町主催)



・清掃場所
河口湖畔を中心とした町全
体の一斉清掃
・参加人数 8,000人
・ゴミの量 7トン

(富士河口湖町大池公園
での開会式)

●4月29日『クリーンキャンペーン富士山』 (エコア株式会社主催)

・清掃場所
富士ビジターセンター周辺～
東富士五湖道路の富士スバ
ルライン沿い
・参加人数 40人
・ゴミの量
可燃物 20kg
不燃物 20kg
粗大ゴミ 100kg



(清掃後ビジターセンターにて開会式)

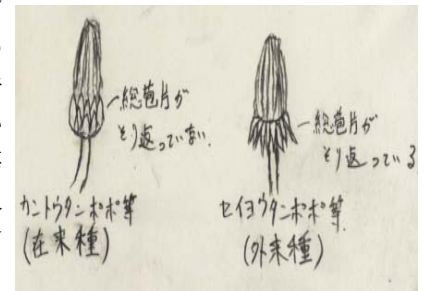
富士山清掃に関するイベント情報、参加者募集や、
活動の報告を富士山ボランティアセンターまで
お寄せください！

富士山レンジャー日記：タンポポの話

(文・画： 萱沼進)

春の花というと皆さんは何を想い浮かべるでしょうか？もちろん桜を連想する人は多いと思いますが、桜以外にも春になるといろいろな植物が花を咲かせます。原っぱや空き地、道路のアスファルトなど色々なところで咲いているタンポポを見かけます。人は桜が咲いていると花見をしますが、どこにでも生えているタンポポは桜のように花見をしたりしません。ですが、私は違います。桜の下にタンポポが生えているとタンポポに目がいってしまいます。

皆さんは、タンポポは大きく二種類あるのを知っていますか？昔から日本に自生していたカントウタンポポ等の在来種と海外から入ってきたセイヨウタンポポ等の外来種です。



タンポポの見分け方

在来種と外来種の見分け方は簡単です。在来種のカントウタンポポ等は総苞(ソウホウ 花の付け根の部分)が反り返っていないのですが、外来種のセイヨウタンポポ等は総苞が反り返っています。

私が、高校生のころは通学路の途中でカントウタンポポを見かけることがあったが、最近ではまったく見なくなっています。カントウタンポポが減少していることもあるかもしれませんが、車で移動することが多くなりタンポポを観察する機会が減ってしまったのが大きな理由ではないかと思っています。そこで、巡回の時などにタンポポが咲いていると在来種か外来種か確認するようにしています。だから、桜よりもタンポポに目がいってしまいます。

本栖湖に巡回に行ったときのことです、群生して生えているセイヨウタンポポから、少し離れたところに一株だけ咲いているタンポポを見つけました。いつものように花の付け根を確認してみると反り返っていないのです、まさしくカントウタンポポでした。久しぶりにカントウタンポポを見つけたときは、それまで何年も音信のなかった旧友と再会したような気持ちでした。

レンジャー業務の傍らこれからも、在来種のタンポポを暖かい目で見守っていくつもりです。皆さんも、タンポポを見かけたら花の付け根を見てください。もしかしたら、あなたの近くにも在来種のタンポポがあるかも知れません。



カントウタンポポ(本栖湖にて撮影)

富士山レンジャーからの「自然とふれあうヒント」 安全に楽しく春のハイキングを！

ゴールデンウィークを過ぎると、心地よい気温の日が多くなります。天気の良い日は富士山を眺めるハイキングがおすすめです。富士北麓には富士山を取り巻くようにハイキングコースが数多く整備されており、富士山を眺める絶好の展望台となっています。一段高い位置から眺望すると、平地から見上げるのとは異なり、裾野から頂上まで見渡せ、富士山と対面することができます。2～3時間の比較的手軽なコースから、終日歩き続けるハードなコースまで自在に計画を立てられるのも魅力です。

経験の少ない、初心者の方であればコースが明瞭で危険の少ない東海自然歩道を歩いてみましょう。(社)山梨県物産観光連盟発行の東海自然歩道マップが参考になります。

ハイキングに行く際、必携すべきですが忘れがちな持ち物があります。雨具(カッパ)とライトです。山に登れば想像以上に肌寒いのがこの季節です。雨具は天候の急変に備えるだけでなく、防寒・防風にも役立つなど幅広く使用できます。ライトは「日帰りハイキングでは不必要では・・・」と思うかもしれませんが、森の中では思った以上に暗くなるのが早いものです。暗くなると足元が不明瞭になり、歩みはさらに遅くなり、ケガもしやすくなります。道迷いや疲労などの思わぬアクシデントで下山が遅れることもあります。暗くなるとライトなしではまったく行動できなくなってしまいます。両手が自由になるヘッドランプが良いでしょう。ホームセンターなどで安価なものがあります。リュックの底にこれらの装備を忘れずに入れ、安全なハイキングを楽しみましょう。

また、自分たちの出したゴミの持ち帰りを徹底しましょう。



左: 地図はハイキング専用のもが便利
中: 雨具は上下セパレートがよい。薄く、フードのついたものを
右: LEDヘッドランプ。球切れの心配がなく、電池も長時間持続する

富士山憲章

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境等の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動を呼びかけ、国民的な規模で運動の展開を図っていくことを目的とします。

富士山ボランティアセンターニュース発行:

山梨県観光資源課富士山山岳担当富士山ボランティアセンター

(富士ビジターセンター内) 〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

TEL 0555-20-9229 FAX .0555-72-4114

E-mail: fujisan@eps4.comlink.ne.jp

http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan3776

富士山茶屋 「雪代」

「雪代」なんと読むかわかりますか? 「ユキシロ」と読みます。雪代とは、富士山で春によく起こる雪崩のことです。富士山では、春に多量の雨が降った後や、急激な温度の上昇があると岩石や土砂、立木に倒木などを交えて流れ落ち大きな雪崩が発生することがあります。これが「雪代」です。かつては、雪代によって富士吉田の町が破壊されたことがありました。今では、そこまで大規模な雪代は発生していませんが、この時期に雨が降った後、川を見ると濁流になっているのを見ます。これも一種の「雪代」です。

「雪代」は俳句の春の季語としても使われています。歳時記で「雪代」を見ると「春先に急に積もった雪が溶けて、川や海へ流れ溢れ出す現象」と書かれています。季語としての雪代は、雪崩ではなく、雪解け水の意味があるようです。

この「雪代」の相違は、山の違いにあるのでしょうか。富士山の場合、雪が解けると、岩石や土砂を含んだ土石流のような雪崩になって川を流れます。しかし、緑の豊かな山の場合、川を増水させ春をつけることになります。

麓は春でも・・・5月上旬の五合目便り



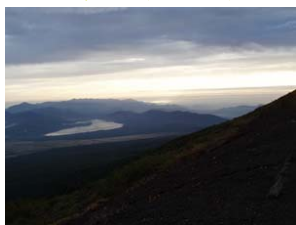
五合目ロータリー御中道入口
(雪が解けるのは5月の終わり頃)

富士スバルラインの5合目あたりでは道路脇にチラホラと雪を見つけることができます。そして冷たい風に研ぎ澄まされた5合目からの大パノラマを目にすれば、富士山の美しく厳しい自然を目にすることができるでしょう。富士山頂の5月平均気温は-3.8℃。標高が100m上がると0.6℃下がるため、標高差から山頂と五合目の気温差が8.8℃あると考え、五合目の5月平均気温は、およそ5℃ぐらいとなります。

五合目の御中道や登山道もまだ、固い雪が積もっていて、歩くことは困難です。また雪崩の危険もありますので、くれぐれも注意してください。

安全に富士山を楽しんでいただけるように、自然解説や登山情報の提供などを五合目総合管理センターで行っておりますのでご利用ください。

「富士山五合目自然解説」のお知らせ



山梨県では、5月1日から10月末までの期間、五合目周辺にて動植物、景観、地形、地質等の自然解説を行っています。晴天時には山中湖や麓の街、遠くは相模湾が見渡せる五合目～六合目周辺の

吉田口登山道コース、天地の境で繰り広げられる美しい自然の営みを感じることができる五合目～御中道～御庭～奥庭駐車場コースをご用意しています。富士山学習にも役立ちます!



【お問い合わせ】

- 富士山ボランティアセンター
0555-20-9229
- 五合目総合管理センター
0555-72-1477